

## 【議事録】

審議会等名	令和5年度 第1回つくばみらい市市民協働推進委員会
●日時	令和5年6月15日（木）午前10時～正午
●場所	みらい平市民センター 4階 会議室2
●出席委員	古舘千恵子委員長、小菅均副委員長、石塚裕子委員、大橋信久委員、小菅新一委員 関慶広委員、藤林寿委員、菩提寺宗子委員
●欠席委員	石村章子委員、松本譲二委員
●事務局	地域推進課 石引課長、柴山課長補佐、石神主査、前田主事、鎌田主事
●傍聴人	なし
●次第	1 開会 2 議事 (1) つくばみらい市市民活動支援補助金申請事業に係る評価について (2) 令和5年度市民協働事業進捗状況について（報告） 3 その他 4 閉会
1 開会	
2 議事	・委員長が議長となり、以下の議事進行を行った。 ・「(1) つくばみらい市市民活動支援補助金申請事業に係る評価について」評価方法の説明及び1 団体目の事業に関する計画書等の読み上げを行った。
	<b>【質疑・意見等】</b>
●委員	補助金額については、最大で1組に対して25万円であるため、3団体だと、最大75万円になる かと思います。基本的に全ての団体に補助金を出すという考えですか。 また、今回申請のあった団体がすべて交付決定された場合、予算はクリアしているのでしょうか。
●事務局	今回の補助金は、スタートアップ補助金とステップアップ補助金の2つに分かれております。今 回、申請のあった3団体は全てステップアップ補助金を申請され、上限額は20万円です。また、事 務局が補助経費等について形式的審査を行い、予算の可能な範囲内で交付させていただくことにな ります。 なお、すべての申請団体の交付が決定された場合でも、予算はクリアしております。
●委員	この団体の活動は面白いと思います。しかし、おにぎりコンテストで調べてみると、電子メールや インスタグラムでの募集となっています。あさのいちやマルシェなど、リアルな場所でコンテスト を行い、そこで投票してみたりすると、盛り上がるのではないかと思います。

また、せっかくコンテストで順位を決めるのであれば、今度はそれを地元の子供たちに食べさせるようにしたり、学校給食の献立で提供したりするのもいいのではないかと思います。

●事務局

本団体の事業では、市が主催するおにぎりコンテストに関連したことを行うとお聞きしていますが、団体のこれからの活動として、新たな発見に繋がる場所もあると思いますので、今のようなご意見なども、可能な限り、評価表のコメント部分にご記載ください。委員の皆様からの市民目線の意見について、団体の方も、そういった活動の方法があるんだという発見に繋がると思います。それらが今後の団体の活動にも繋がっていくと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

●委員

評価の仕方について、予算上3団体とも補助金交付が大丈夫ということは何となくわかりましたが、団体ごとに比較しなくていいのでしょうか。地域の課題など、それだけでストレートに評価するという事は結構難しいことと思っています。3団体を見て、この団体が地域の課題の捉え方が一番いいのではないかとか、そこは考えないでいいのでしょうか。

●事務局

今回の評価については、相対的な評価ではなく、一つひとつの団体に対し、事業に対する絶対的な評価というところをお願いしたいと考えております。

●委員

先ほどの質問に関連するのですが、評価する時に、予算枠の中で収まっているうちは各団体個々の評価をするということです。ただ、予算の上限に近くになり、どこかの団体を調整しなければいけないという時は、相対評価をしなければいけないという説明はありませんでしたが、おそらくそうしなければいけないと思います。今回は3団体で総額の金額も大きな金額ではないので、1団体ごとに評価をさせていただきました。

例えば、この先、各団体の活動が活発になり、補助金の申請が15団体になったとします。15団体が20万円ずつ補助金の申請をした時に、12団体分しか予算がないということであれば、相対評価をしなければいけない、そういう考えで評価していいのでしょうか

●事務局

今回の補助事業について、皆様に評価をいただくうえで前提となってくることは、委員の皆様のご意見を頂戴するということがまず第一点です。最終的な補助金の交付決定については、市で行います。つまり、今おっしゃられたように、補助金の予算総額に対して、補助申請額を申請団体数が上回ったらどうするのかという問題につきましては、最終的に市で判断決定をさせていただきたいと思っております。

その際に、市で決定するうえで、市民の皆様がどのようにお考えになっているのかということも、参考資料とさせていただきたいと思っております。この委員会は、委員会としての答えではなく、それぞれ委員の皆様個々の意見を伺う形をとらせていただいております。つまり、委員会としての合議体ではなく、それぞれの委員の皆様から、市民の皆様のご意見を伺う場として開催しております。

すので、皆様のご意見を参考にさせていただいたうえで、市の方で最終決定をさせていただきます。先ほど、事務局からご説明させていただいたように、皆様は比較ではなく、団体ごとの率直なご評価をいただければと思っております。

●委員

計画書に記載のある「みらいお米塾」についてですが、みらい平に限定されているような感じがしますが、これはみらい平地区の方限定なのでしょうか。

また、出来上がったもののタイトルもみらい平となっています。先ほど出たあさのいちなど、様々なイベントがあるような所にそういうものを配っていただき、みらいお米塾というものがどのようなものなのかということ PR することが少し足りないのではないかと思います。できることなら市民全体に向けた活動の方がいいのではないかと感じました。

●事務局

団体からは、参加型講座について、みらい平在住の方だけが対象ということではないということはお伺いしております。そのため、みらい平地区以外の方も参加することは可能だということです。しかし、当該団体として、みらい平地区で自治会をはじめとした地域間交流が少ないと感じいらっしゃることが、事業のきっかけとしてあるということをお伺いしています。

・「(1) つくばみらい市市民活動支援補助金申請事業に係る評価について」2 団体目の事業に関する計画書等の読み上げを行った。

【質疑・意見等】

●委員

この事業は市長や県警等が関わっているということで、大掛かりなプロジェクトになっていると思います。事業計画書には介護福祉課の記載もありますが、他にどのような部署や予算が関わっているのでしょうか。予算書に記載された予算だけではこの事業はできないと思うのですが。

●事務局

予算についてですが、団体からは予算書に記載された経費以外にかかっているものはないとお伺いしております。また、関係課としては、文化振興を担当している教育委員会の部署が主に関わっているとお伺いしています。

●委員

予算書にきらくやまのホール使用料の記載がありますが、市が関わっている事業でも使用料はかかるのでしょうか。自身がホールを利用した際は、使用料がほぼ免除になっていました。介護福祉課等が関わっている事業であれば、免除になるのではないのでしょうか。

●事務局

ホール使用料につきまして、団体に確認しましたところ、実施主体が当該団体であり、その場合には使用料がかかるということをお伺いしております。委員が指摘したように、市の部署が関わっている場合に使用料免除に該当になるのではないかという点について、該当にならないと団体及び教育委員会にも確認しております。

●委員

この事業計画書に記載のある各団体は、文化協会等様々な場所に所属している団体だと思いますが、そうであれば、団体には既に補助金が出ていると思います。今回の補助金は、これまで文化協会等に所属している団体とは別の団体になるのか、あるいは既存の団体がステップアップするための補助金申請なのか、どちらでしょうか。

●事務局

当補助金の交付については、国や地方公共団体等からの補助が入っていない事業であることが前提となっております。団体ではなく、この事業に対して何らかの補助金が資金となっている場合には、今回の補助金の対象にはなりません。団体へヒアリングを行った結果、当事業には他の補助金は入っていないということをお伺いしておりますので、補助金の交付の条件には合致しております。

また、当事業は、本団体がこれまで取り組んできた活動をステップアップする、内容を拡充したものであると認識しております。団体が実施する事業について、これまでは西丸山祈禱囃子等と本団体はこれまで関わりはなかったとのこと。団体として自主的に文化・芸術を広げる活動をしていく中で、自分たちだけで活動を広めることは難しいため、様々な活動をしている団体にご協力いただいて、一堂に会することで、様々な文化・芸術というものに触れ合ってもらいたいということが本事業の主旨であるとお伺いしております。

●委員

今回のチャリティーコンサートは、市民が市民のためにおこなう事業であり、協働につながる活動であると考えます。そのような事業であれば、ホール使用料等は無償で利用できるよう交渉してあげるべきではないかと思っておりますので、検討いただきたいと思っております。

・「(1) つくばみらい市市民活動支援補助金申請事業に係る評価について」3団体目の事業に関する計画書等の読み上げを行った。

【質疑・意見等】

●委員

こちらの事業について、市役所ではどこかの部署が関係しているのでしょうか。

●事務局

市役所の部署が直接関与していることはありませんが、市の観光協会が関係しており事業を進めていくと伺っております。

●委員

この団体が継続して活動を行っており、Twitter や Facebook 等の SNS を3つほど活用していることを確認しました。

今回の事業では、着物のレンタル料が4,000円とあります。これまでおこなっていたイベントでは1,500から2,000円程度であったと確認しましたが、これまでのイベントよりも高めに設定されているのは何か理由があるのでしょうか。

●事務局

申し訳ございません。詳しい理由まではお伺いしておりません。

●委員

本事業の本来の目的は何かお聞きしたいです。ワープステーション江戸を利用して結婚式を行いましょうというような宣伝をしたいのでしょうか。

●事務局

事業目的は、事業計画書に記載のとおりになります。団体からは、何かの宣伝といったものについては、特に考えてないとお伺いしております。

将来的には、潮来のあやめ祭りのようなものをつくばみらい市でも開催したいと思っていることはお伺いしていますが、あくまで事業目的は事業計画書に記載のとおり、地域の魅力発信力でございます。

●委員

そうすると、事業の対象者が花嫁というところが引っ掛かります。考えていることは良いことだとは思いますが、つくばみらい市全体を1週間、1か月に何回か、みんなで和服を着て歩きましょうといったものにするということもあるのではないのでしょうか。

●委員

インターネットで調べてみたところ、本団体は、ワープステーション江戸を活用して、過去3、4回イベントを行っています。イベントの参加者に和服の着付けをして、江戸の空気を味わっていただき、SNSに口コミをアップしてもらうことで、セルフプロモーションをってもらうことをしてきました。そういった従来の活動に、花嫁という新しいコンセプトを加えて、若い世代に参加してもらうきっかけをつくらうとしているのだろうと自分は理解しています。なにかを宣伝したいというよりも、これまでやってきたイベントの延長として、今回は花嫁というものを足して、内容を拡充したので、ステップアップ補助金を申請したのではないかと考えています。

●委員

そもそも、市の観光協会が実施するイベントではどのようなことをやるのでしょうか。大元のイベントで何をやるのかがわからないとよくわかりません。

●事務局

茨城県のデスティネーションキャンペーンというものがあり、県がワープステーション江戸を指定して使用することになっておりますが、詳細につきましては現在調整中であり、把握できておりません。

●委員

評価表のコメントにも書きますが、もし人を集めたい、ワープステーション江戸を知ってもらいたい、つくばみらい市をアピールするという意味だとすると、子どもたちを集めてスポーツチャンバラ大会みたいなことを年に3回とかすれば、子どもを連れてくるためには親が来なくてはいけないと思うので、魅力発信ではないですが、周知にはなると思いました。

●事務局

ご指摘のとおりで、子どもが参加すると親が必ずついてくるということは考えられると思います。そのため、子どもを対象にすると、参加者自体が増えていくと思っております。

- ・「(2) 令和5年度市民協働事業進捗状況について(報告)」について事務局から説明を行った。

【質疑・意見等】

●委員

市民活動支援補助金の説明会に6名がお越しとの事ですが、今回の申請は3団体でした。残りの3名についてはどうされたのでしょうか。

●事務局

申請されなかった方々のうち、これから市民活動団体を立ち上げてスタートアップ補助金の申請をしようと考えている方が2名いらっしゃいました。説明会にはそれぞれ個別に来られていましたが、この説明会を通して、二人で一緒に子育てに関する団体を立ち上げる運びとなりました。補助金の申請についても、提出間際まで至ったのですが、団体を長く継続していきたいと考え、改めて事業を見直したいという事で今回は申請に至りませんでした。しかしながら、団体は一から立ち上げると伺っております。ほかの方につきましては、当補助金が想定していたものとは違っていたという事で申請を見送られました。

4 閉会(正午)

●配布資料

- ・令和5年度第1回 つくばみらい市市民協働推進委員会 会議次第
- ・令和5年度第1回 つくばみらい市市民協働推進委員会 会議資料